

- ◆ 平成28事務年度関東財務局地域連携基本方針において、若手職員によるボトムアップでの取組を行うとの方針を受け、本局・各財務事務所において、中堅・若手職員を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ。
- ◆ 地域イベント等への参加、若年層向け財政教育や高齢者向け注意喚起広報へ積極参加のほか、地方公共団体等の若手職員との地域活性化・地方創生支援に向けた意見交換会を開催するなど取組を展開。

1. 成果事例の概要等

○本局・財務事務所では若手PTの立ち上げ！

関東財務局地域連携基本方針の策定を受け、本局・財務事務所においてPTを立ち上げ。地域ニーズを捉えた取組を行うにはどのように行っていけばよいか、若手職員同士での意見交換を実施。



○地域イベント等への参加

様々な地域イベントに参加し、来場者参加型の関東財務局の業務紹介を行ったほか、若年層向けの金融教育も実施。



三郷産業フェスタへの参加【埼玉】



前橋地方気象台  
お天気フェアへの参加【前橋】

○若年層向け財政教育、高齢者向け注意喚起広報実施

小・中学生向けの財政教育の実施のほか、高齢者向けの投資詐欺注意喚起広報について寸劇等を交え、実施。



財政教育プログラム【埼玉】



注意喚起広報【東京】

2. これまでの取組の成果等

若手職員自身の企画による地域連携の取組実施を通じ、地方公共団体、大学等との繋がりができ、若手職員による地域活性化・地方創生支援に向けた意見交換会等へと発展。若手職員が主体的に地域連携の取組を実施することで、**将来を見据えた若手同士のネットワーク**が構築されるとともに、**地域連携の推進に向けた若手の意識の醸成**が図られた。

若手職員による意見交換会実施【埼玉】

地域活性化等に取り組んでいる国県市の若手職員による意見交換会を企画・開催。参加市における地域版総戦略の説明や、地域活性化の取組事例などの発表が行われたほか、「県の魅力を高めるために」をテーマにグループワークを実施。



<参加者の声>

- 施策実施にあたっては、住民の目線に立ち、いかに理解を得ていくかが改めて重要と感じた。
- グループワークは、財務局職員がファシリテーターを務めて頂き、進行が大変スムーズでした。

茨城大学との連携強化【水戸】

地方創生に積極的な茨城大学への訪問をきっかけに、学生主体のワークショップ等への参加に発展。更には、茨城大学教授と若手職員との地方創生に係る意見交換会を実施。



茨城大学西野教授  
との意見交換会

古民家再生事業に係るヒアリング【千葉】

地域活性化に取り組む企業に取材を行うなか、古民家再生事業に着目。古民家の現地調査を行ったほか、事業に取組む方へ、国や地方公共団体への要望についてヒアリングを実施。



古民家現地調査班

3. 今後の課題と関東財務局等の対応

<<関東財務局等の今後の対応>>

- 引き続き各種の取組等への参加を通じ、様々な関係者とのネットワークを構築し、地域ニーズを継続的に把握。ニーズに応じた若手職員によるボトムアップでの取組を引き続き実施。